

2019年5月20日 高齢者運転リスクについて

※一言要約： 高齢者は自動ストップなどの安全装置付き車を！

最近、頻繁に高齢者運転の事故の報道がされていますが、その対応について思うことを本日は述べたいと思います。

自主的に免許返納するのも一つの方策ですが、そうもいかない事情も多くあるようです。そこで考えられるのが、最近の技術の進歩(安全装置)に助けられて、運転を継続することで、自動ストップの安全装置や、踏み間違い防止装置などを装着した車に乗り換えることです。

国策としては、高齢者の運転は上記装置を必須条件とし、その推進策として車の買い替え時の補助金を少額でも支援することを早急に実施して欲しいと思います。

事業経営としては、高齢者の運転は事業リスクであると考え、多少投資が増えても対応に積極的に取り組む必要があります。それは安全装置装備の車に乗り替える(リース車変更など)ことです。自動車保険に入っているから・・・ではなく、それも万が一に備えて必要ですが、それ以前にその万が一の可能性を少なくする施策が必要なのです。

運転者としては、私も高齢者の一人ですが、車間距離を十分保つことを常に心がけています。若かった時の1.3~1.5倍の車間距離です。一瞬反応が遅れても間に合う車間距離を意識しています。

運転者は、年齢に関わらず、凶器を運転しているのですから……………